

2018年2月20日

「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定

トッパンフォームズ、健康経営の推進で社員が活躍できる基盤を強化

デジタルハイブリッドのトッパン・フォームズ株式会社（以下、トッパンフォームズ）は、従業員などの健康に配慮した経営を実践している企業として、2月20日に経済産業省から「健康経営優良法人～ホワイト500～」の認定を受けました。認定には「経営方針・理念」「組織体制」「制度・施策実行」「評価改善」の4つの基準が設けられており、当社は「経営方針・理念」の項目、特に「積極的な情報開示の姿勢」が高く評価されました。トッパンフォームズは昨年につき2年連続での認定となります。



【健康経営優良法人（ホワイト500）について】

経済産業省が日本健康会議と共同で、優良な健康経営を実践する大規模法人を認定する制度。2017年度に開始され、2020年までに500社を認定します。健康経営を実践する法人を拡大することが目的です。

【トッパンフォームズの取り組み】

トッパンフォームズでは、多様な人材が生き生きと働き続けることができる基盤づくりとして、働き方改革、健康保持・増進活動の推進による会社の発展向上を目指しています。

主な施策は次のとおりです。

- 1.生活習慣病対策
- 2.メンタルヘルス対策
- 3.禁煙対策
- 4.家族の健康推進

●具体的な活動

1. 健康経営を全社方針に掲げ、トッパンフォームズグループ全体への浸透を促進
健康経営の推進を経営方針の中に明文化、さらには行動指針ケースブック、社内報、社内規定などで発信。多様な人材が生き生きと働き続けることができる基盤づくりに努めています。
2. 経営トップが関与し、医療専門職、健康保険組合との連携による施策を推進
健康課題の把握から制度作成・施策実行・効果検証まで経営トップが関与。産業医・看護師などの医療専門職に加え、健康保険組合と連携し実施体制を構築しています。特に生活習慣病対

策に力を入れており、健診結果フォローや噛む力チェック＆歯科相談会、肺年齢測定、生活習慣病予防セミナー等を定期的で開催するなど、従業員の意識改革・行動変容につながるような様々な施策を工夫しながら行っています。

3. 健康施策実施による社内の「働き方改革」推進

長時間労働対策としてノー残業デー設置（月2回）や残業時間管理（月ごと）、役員会で長時間労働者数／部署の報告を定例化するなど、さまざまな取り組みを実施しています。特に管理職の意識向上に注力しており、労働時間マネジメントやストレスチェックワークショップ受講など、従業員などが心身ともに健康な状態で働くことができる環境の整備を推進しています。

4. トップアンフォームズの「健康経営」の在り方を積極的に外部発信

当社の健康経営の推進体制や主な施策、実施しているプログラムについて、当社の得意先や外部団体・企業など社外からの講演・面談依頼をいただく機会が増加しています。得意先企業の総務担当者との面談や健康保険組合関係者対象の講演などを通じて、健康への取り組みが促進されるよう、啓発活動を展開しています。



社員対象に実施された「噛む力チェック」の様子



健康経営講演会では当社社員が登壇し、健康経営実現に向けた当社の取り組みを講演

以上

※ 「健康経営優良法人～ホワイト 500～」の詳細は、以下（経済産業省 Web サイト）をご覧ください。

URL : <http://www.meti.go.jp/press/2017/02/20180220003/20180220003.html>

※ 「デジタルハイブリッド」は、トップアンフォームズ株式会社の登録商標です。

本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

トップアンフォームズ株式会社 経営企画本部広報部 TEL:03-6253-5730